

【22年度に向けて】

3月20日には、68名の9期生が小学校を卒業していきました。私が9期生との思い出として残っているものの一つに、3年生のときのサマーキャンプがあります。一緒に食事をしているときに、とても楽しい会話ができたこと、そのときの子どもたちの笑顔が素敵だったことが忘れられません。

卒業式の数日前に行われた「6年生を送る会」で、低学年の子どもたちからのメッセージの中に、「いつも私たちに笑顔で手をふってくれてありがとうございます。」というものがありません。私だけでなく、低学年の子どもたちも、9期生の笑顔に元気ももらっていたのでしょ。今回の「送る会」を企画、準備してくれた5年生には、感謝の気持ちを伝えましたが、是非9期生から引き継ぐ小学校の伝統の一つに、この「笑顔」も忘れないでもらえたらと思っています。

学校でたくさんの子どもの笑顔が見られるように、私たちが頑張らなくてはならないと気持ち新たにしました。

さて、22年度の教育活動を始めるにあたり、今年度までと日課表、行事などいくつかの変更がありますので、それについて全体会でもお話をさせていただきますが、少し説明をさせていただきます。

日課表について

休み時間のAグラウンドの混雑については以前から改善の必要があると考えており、子どもたちの遊び場所の振り分けなどによって対応してきましたが、それでも子どもたちが安全に遊ぶことができる環境を作り出すことはなかなか困難でした。そこで、朝の学習（15分間学習と名称を改めます）を2時間目と3時間目の間に低学年と高学年で交互に作ることにし、中休みの時間を低学年と高学年で分けることとしました。昼休みについては、委員会活動などもあり、全校児童が同時に休み時間をとる必要があると考えこれまで通りとします。

兄弟学年について

1-5年、2-6年という兄弟学年の仕組みを、1-3-5年、2-4-6年という3学年の仕組みに変更します。常に3学年で一緒に活動するというのではなく、その内容によっては2学年での活動も計画することもあります。これは、今まで兄弟学年の仕組みの中に入っていなかった3、4年生もその仕組みの中に入れることで、それぞれの活動を広げ、活躍の場、成長の場を作るための変更です。

作品展について

小学校は中高の輝緑祭には参加せず、独自に12月に作品展を行うことにします。これまで、毎年9月23日の輝緑祭で小学校でも作品展を行ってきましたが、10月の運動会に向けた準備と時期が重なり、子どもたちの学校生活は忙しいものになり、それぞれの行事の目的を十分に達成できていなかったと考えます。

輝緑祭では、中高の企画を楽しんでもらい、小学校においては、10月の運動会、11月のマラソン大会、そして12月の作品展をしっかりと行っていきたいと考えています。

これに伴い、これまで輝緑祭で行ってきた父母会喫茶は実施しないこととします。長い間、父母会役員、輝緑祭委員の皆さんのお力で盛り上げていただいた行事を変更することは大変心苦しいのですが、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

副担任について

6年間の小学校生活で、クラス替えはこれまで通り2回行います。担任は基本的には2年間変更することはありませんが、副担任は各年度の教員組織変更に伴い変更する場合がありますのでご承知おきください。

なお、今年度末で退職する教員はおりませんが、現在育児のために2人の教員が休業中ですので、新たに一人の教員を採用しますが、休業中の教員が復帰するまでの間、教頭が副担任を兼務することになります。

日記指導について

国語の「書く」分野の指導の一つとして、3、4年生において日記を課題とすることとします。今年度試験的に3年生で行ってきましたが、それによって書くことへの関心の高まりが見られ、大きな成果が期待できることが分かりました。他の学年においても、毎日または週に何回か日記を書いている児童がいますが、3、4年生での取り組みをきっかけにして多くの児童が上級生になっても継続していくようになってほしいと思っています。

表現の授業について

桐光学園小学校の授業の一つに「表現」というものがあります。1年生から3年生までで週1時間ずつの授業ですが、この授業は基本的には体育とは異なる目標を持っていて、自分の感情を表現することだけでなく、他者の表現を受け止め、共感できるようにすることを大きな目標としています。これまで体育との関係の持たせ方が難しかったのですが、来年度からそれをきちんと整理し指導していきます。運動会のリズム体操は、体育の中のリズム・ダンスの学習の発表と位置づけることになります。なお、発表会での表現の扱いについては、今後検討していきます。